

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年4月21日(2022.4.21)

【公開番号】特開2021-119158(P2021-119158A)

【公開日】令和3年8月12日(2021.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2021-037

【出願番号】特願2021-71253(P2021-71253)

【国際特許分類】

A 61K 31/4155(2006.01)

10

A 61K 9/08(2006.01)

A 61K 9/10(2006.01)

A 61K 9/12(2006.01)

A 61K 9/14(2006.01)

A 61K 9/20(2006.01)

A 61K 9/48(2006.01)

A 61K 45/00(2006.01)

A 61P 1/00(2006.01)

A 61P 1/16(2006.01)

A 61P 3/04(2006.01)

20

A 61P 3/10(2006.01)

A 61P 7/06(2006.01)

A 61P 9/00(2006.01)

A 61P 11/00(2006.01)

A 61P 11/06(2006.01)

A 61P 13/10(2006.01)

A 61P 13/12(2006.01)

A 61P 15/02(2006.01)

A 61P 17/00(2006.01)

30

A 61P 17/04(2006.01)

A 61P 17/06(2006.01)

A 61P 19/02(2006.01)

A 61P 21/00(2006.01)

A 61P 21/04(2006.01)

A 61P 25/00(2006.01)

A 61P 25/04(2006.01)

A 61P 27/02(2006.01)

A 61P 29/00(2006.01)

A 61P 31/12(2006.01)

A 61P 33/14(2006.01)

40

A 61P 35/00(2006.01)

A 61P 35/02(2006.01)

A 61P 37/02(2006.01)

A 61P 37/06(2006.01)

A 61P 43/00(2006.01)

C 07D 403/04(2006.01)

【F I】

A 61K 31/4155

A 61K 9/08

A 61K 9/10

50

A 6 1 K 9 / 12		
A 6 1 K 9 / 14		
A 6 1 K 9 / 20		
A 6 1 K 9 / 48		
A 6 1 K 45 / 00		
A 6 1 P 1 / 00		
A 6 1 P 1 / 16		
A 6 1 P 3 / 04		
A 6 1 P 3 / 10		
A 6 1 P 7 / 06	10	
A 6 1 P 9 / 00		
A 6 1 P 11 / 00		
A 6 1 P 11 / 06		
A 6 1 P 13 / 10		
A 6 1 P 13 / 12		
A 6 1 P 15 / 02		
A 6 1 P 17 / 00		
A 6 1 P 17 / 04		
A 6 1 P 17 / 06		
A 6 1 P 19 / 02	20	
A 6 1 P 21 / 00		
A 6 1 P 21 / 04		
A 6 1 P 25 / 00		
A 6 1 P 25 / 04		
A 6 1 P 27 / 02		
A 6 1 P 29 / 00		
A 6 1 P 29 / 00 1 0 1		
A 6 1 P 31 / 12		
A 6 1 P 33 / 14		
A 6 1 P 35 / 00	30	
A 6 1 P 35 / 02		
A 6 1 P 37 / 02		
A 6 1 P 37 / 06		
A 6 1 P 43 / 00 1 0 5		
A 6 1 P 43 / 00 1 1 1		
A 6 1 P 43 / 00 1 2 1		
C 0 7 D 403 / 04		

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月30日(2022.3.30)

40

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

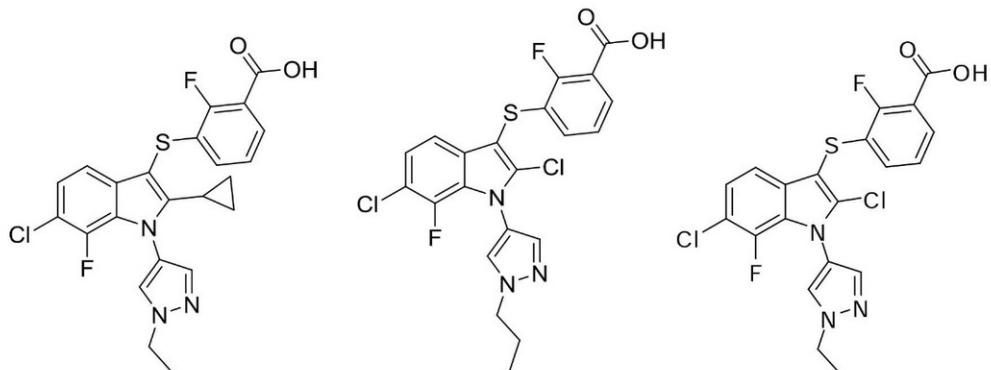
【特許請求の範囲】

【請求項1】

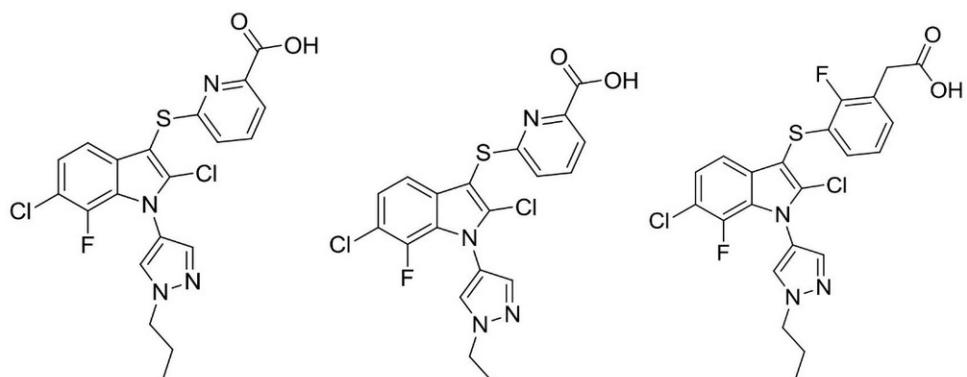
哺乳動物における、気道疾患または疾病、眼内圧、神経障害性疼痛、またはそれらの組み合わせの処置のためのオートタキシン阻害剤を含む組成物であって、前記オートタキシン阻害剤は以下の構造、あるいはその薬学的に許容可能な塩を有する、組成物。

50

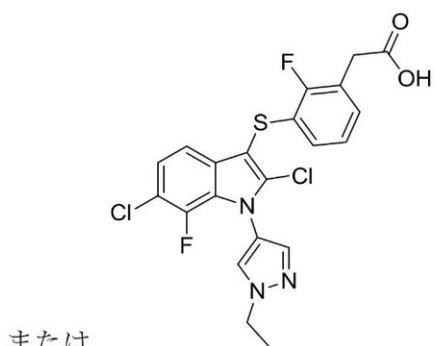
【化 1】



化合物 A , 化合物 B , 化合物 E



化合物 F , 化合物 G , 化合物 H



または

化合物 I

【請求項2】

化合物 A、化合物 B、化合物 E、化合物 F、化合物 G、化合物 H、または化合物 I が、薬学的に許容可能な塩の形態で投与される、請求項 1 に記載の組成物。

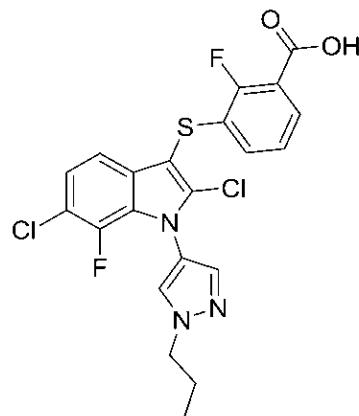
【請求項3】

化合物 A、化合物 B、化合物 E、化合物 F、化合物 G、化合物 H、または化合物 I が、ナトリウム塩の形態で投与される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項4】

哺乳動物における、気道疾患または疾病、眼内圧、神経障害性疼痛、またはそれらの組み合わせを処置のためのオートタキシン阻害剤を含む組成物であって、前記オートタキシン阻害剤は以下の化合物Bの構造、あるいはその薬学的に許容可能な塩を有する、組成物。

【化2】



化合物B

10

20

30

40

50

【請求項5】

化合物Bが、薬学的に許容可能な塩の形態で投与される、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

化合物Bが、ナトリウム塩の形態で投与される、請求項4に記載の組成物。

【請求項7】

前記オートタキシン阻害剤が、前記哺乳動物における気道疾患または疾病の処置において使用される、請求項1～6のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項8】

前記気道疾患または疾病は慢性閉塞性肺疾患、囊胞性線維症、あるいは喘息である、請求項7に記載の組成物。

【請求項9】

前記オートタキシン阻害剤が、前記哺乳動物における眼内圧の処置において使用される、請求項1～6のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項10】

前記眼内圧は緑内障に関連付けられる、請求項9に記載の組成物。

【請求項11】

前記オートタキシン阻害剤が、前記哺乳動物における神経障害性疼痛の処置において使用される、請求項1～6のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項12】

神経障害性疼痛は神経損傷の結果である、請求項11に記載の組成物。

【請求項13】

前記オートタキシン阻害剤が、前記哺乳動物に局所投与されるか、経口投与されるか、または非経口的に投与される、請求項1～12のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項14】

前記オートタキシン阻害剤が、前記哺乳動物に全身投与される、請求項1～12のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項15】

前記オートタキシン阻害剤が、前記哺乳動物に経口投与される、請求項1～12のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項16】

前記オートタキシン阻害剤が、経口溶液、経口懸濁液、粉末、丸剤、錠剤またはカプセルの形態で前記哺乳動物に投与される、請求項15に記載の組成物。

【請求項17】

前記オートタキシン阻害剤が、前記哺乳動物に注入によってまたは静脈内に投与される、請求項1～12のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 1 8】

少なくとも 1 つ以上の追加の治療を前記哺乳動物に施すことをさらに含み、前記少なくとも 1 つ以上の追加の治療は、

ピルフェニドン (5-メチル-N-フェニル-2-(1H)-ピリドン)、トラニラスト、フルオロフェニドン、レニン-アンギオテンシン-アルドステロンの遮断、ACE 阻害剤、ADAM 阻害剤、および抗CTGF モノクローナル抗体から選択される線維症および/または腎臓病の治療、

化学療法、ホルモン阻害療法、放射線療法、およびモノクローナル抗体から選択される 1 つ以上の追加の癌治療、

制吐薬、

10

免疫抑制剤、

カルシニューリン阻害剤、mTOR 阻害剤、抗増殖剤、コルチコステロイド、抗体、ポリクローナル抗 T 細胞抗体、B 細胞アンタゴニスト、リツキシマブ、およびナタリズマブ

、
非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID)、

鎮痛薬、

20

放射線療法、

血糖降下薬、

ならびにそれらの組み合わせ、から選択される、請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 項に記載の組成物。

30

40

50